

添付文書

平成29年12月(第1版)

医療機器認証番号229AHBZX00043000

機械器具 03 医療用消毒器
管理医療機器 乾熱滅菌器(JMDN : 35364000)
特定保守管理医療機器 乾熱滅菌器 YDC-300

【警告】

- ・装置、被滅菌物は高温になるため、やけどに注意すること。【熱傷のおそれがある】
- ・温度が異常に上昇した時は、電源を切ること。【故障や火災の原因となるおそれがある】

【禁忌・禁止】

- ・本品に引火性及び爆発性の物質を入れて使用しないこと。【爆発や火災の原因となるおそれがある】
- ・密閉されたものを入れないこと。【破裂のおそれがある】
- ・被滅菌物を詰めすぎないこと。【滅菌不良を引き起こすおそれがある】
- ・排気孔や器内の隙間等にピンや針金などの金属異物等を入れないこと。【感電等を引き起こすおそれがある】

【形状、構造及び原理等】



外寸：幅 410×奥行 450×高さ 670
内寸：幅 300×奥行 300×高さ 300 (単位 mm)

2.付属品

- ・棚板 2 枚
- ・棚受 4 本
- ・電源コード

3.電氣的定格

- ・電源電圧：AC100V
- ・電源入力：9A
- ・電源周波数：50/60Hz
- ・電撃に対する保護形式の分類：クラス I
- ・電撃に対する保護の程度による装着部の分類：装着部なし

4.原理

運転開始後、ヒータへ通電(SSR 駆動)され、設定温度値まで加熱が行われる。同時にファンのモータも作動し、庫内の空気を循環させ、温度を均一に保ち、乾熱滅菌の環境を作り出す。設定運転時間の経過後に、ヒータとファンのモータが自動停止する。温度制御は PID 方式で、センサは K 熱電対を使用している。

【使用目的又は効果】

乾熱を利用して医療に使用する器具機材を滅菌すること。

【使用方法等】

使用前

1. 本品を水平な台の上に設置する。
2. 電源コードを接続する。
3. 電源プラグをコンセントに差し込む。

使用方法

1. 電源を ON にする。
2. 扉を開き、被滅菌物を入れる。
3. 扉を閉め、操作パネルで滅菌温度及び時間を設定する。

4. スタート/リセットキーを長押し、運転を開始する。
5. 昇温中ランプが点灯し、予熱運転を行う。
6. 設定温度に到達し、予熱運転が終了すると、滅菌中ランプが点灯し、滅菌運転が開始する。この時、滅菌時間のカウントダウンが開始される。
7. 設定時間終了後、滅菌中ランプが消灯すると同時にブザーが鳴動し、滅菌が終了したことを知らせる。
8. 放置して、庫内の温度が下がるのを待つ。
9. 庫内の温度が下がった後、扉を開け、被滅菌物を取り出す。
10. 電源を OFF にする。

使用後

1. 本品が常温に戻ったことを確認した後、棚板、棚受を取り外す。
2. 中性洗剤を使用し、よく絞った柔らかい布で庫内、棚板及び棚受を拭く。
3. 乾いた布で再度チャンバー、棚板及び棚受を軽く拭く。

【使用上の注意】

1. 本品を設置するときは、次の事項を守ること。
 - ①設置に際しては、取扱説明書を参照すること。
 - ②傾斜、振動、衝撃(運搬を含む)等には注意すること。
 - ③液体がかかったり、腐食又はガスの発生する場所に設置しないこと。
 - ④幼児、子供の手の届かない所に設置すること。
 - ⑤本品の周囲 10cm 以内に物を置かないこと。
 - ⑥本品の換気口を塞ぐような設置を行わないこと。
2. 本品を使用するときは、次の事項に注意すること。
 - ①使用する前に、必ず取扱説明書を参照し、使用方法等を十分理解すること。
 - ②運転中、運転後は高温になっているので、直接手で触れないように注意すること。
 - ③被滅菌物を取り出す際は、十分に冷えていることを確認すること。
 - ④被滅菌物は、必ず棚板に載せ、庫内床面に直接置かないこと。空気の循環の妨げとなり、被滅菌物を十分に滅菌できないおそれがある。
 - ⑤扉は確実に閉めること。扉が確実に閉まっていないと、庫内の温度が維持できないおそれがある。
 - ⑥庫内に被滅菌物を入れる際は、できるだけ水気を切ってから入れること。
 - ⑦3 段で使用したい場合は、別売りの棚板を使用すること。
 - ⑧被滅菌物は、適切な間隔で配置すること。入れ過ぎると十分に滅菌できないおそれがある。
 - ⑨可燃性、爆発性、揮発性物質及び樹脂等の高温に耐えられないものを滅菌しないこと。
 - ⑩密閉した容器を滅菌しないこと。
 - ⑪滅菌条件を確認してから運転を行うこと。
 - ⑫本品の付属品以外のものを使用しないこと。
 - ⑬本品の電源コードは、3P プラグである。3P プラグに対応していない場合には、設備工事をする。
3. 本品の使用後には、次の事項に注意すること。
 - ①お手入れの際は、薄めた食器洗い用中性洗剤を使用し、濡れた布で十分に拭き取る。
 - ②ブラシ、シンナー、粉石鹸や磨き粉(クレンザー)、熱湯等は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

保管場所については、次の事項に注意すること。

- ①水の掛からないところに保管すること。
- ②長期間、本品を使用しない場合には、電源コンセントを抜いて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

【使用者による保守・点検事項】

漏電ブレーカの機能の点検(1 ヶ月ごと)を行うこと。

- ①電源コードを接続し、通電された状態にする。
- ②漏電ブレーカを「切」の状態にする。
- ③次に「入」の状態にし、漏電ブレーカのテストボタンをボールペン等の先で押した後、漏電ブレーカが切れることを確認する。

【業者による保守・点検事項】

- ・ 定期点検：年一回
- ・ 点検項目：設置状況、性能、非常電源回路、その他

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ヤマト科学株式会社

TEL：0120-405-525

製造業者：ヤマト科学株式会社 南アルプス工場